笠原棚田米新聞

2025 年 6 月号

6 月に入り、笠原は田植えの時期となりました。あちこちの棚田に水が入り始め、これから日ごとに表情を変えていく風景が楽しみです。

6/21（土）に田植えのイベントを予定しています。地元の放課後デイサービスの子どもたちも参加予定です。見学も歓迎ですので、この機会に笠原にぜひお越しください！

今月のお米：川原孝行さん「恵つくし」: 笠原中央区

苗代確認中の川原さん(5/22)

5/22、苗代で作業中の川原さんにお話を聞きました。

「今年の田植えは、稲の苗がまだ小さいので、昨年より 1 週間ほど遅れて 5/28 から始める予定です。種まきは 4 月末に行いましたが、気温の低い日が多かったこともあり、苗の生長が少し遅れています。この春はお茶や他の作物、花なども全体的に少し遅いようです。

今年は 6 反を作付けする予定で、苗箱は 150 枚作っています。1 反あたり 22～23 枚使います。雨は程よく降っており、田んぼの準備は順調です。これから代掻きをして、いよいよ田植え本番です。

米農家としては、米の価格が上がるのはありがたいことで、やる気が出る思いです。ただ、肥料や燃料、機械代や人件費も上がっているため、手放しで喜べるわけではありません。それでも、米づくりの現場が見直される流れになるなら嬉しいことです。

棚田は平地の田んぼに比べて手間がかかり、収穫量も少なめです。昔、牛や馬で耕していたようなところもあり、道が狭く急傾斜で、小型の機械を入れるのもやっとという場所もあります。でも棚田で育てたお米は本当においしいです。歳ですが、できるかぎり続けていきたいと思っています。

今年も安心安全なお米をみなさんに届けられるようにがんばります。いつも棚田での米づくりへの応援をありがとうございます。」（川原孝行）

※農薬化学肥料不使用をお申込みの方には、大橋幸太郎さんの「縁結び」をお届けしています。

山村塾の日常を
発信中です！

山村塾
インスタグラム

◆事務局より

○次回のお届け　次回（**7/2 発送**）は宮園福夫さんの「ヒノヒカリ」と川原孝行さんの「恵つくし」をブレンドしてお届け予定です。

追加注文や精米歩合の変更、配達先変更をご希望の方は、**発送前月 20 日まで**にお知らせください。

こめづくり もりづくり ひとづくり
山村塾
美しい棚田を未来へ

特定非営利活動法人　山村塾
〒834-1222　福岡県八女市黒木町笠原 9836-1
TEL/FAX:0943-42-4300　E mail：info@sansonjuku.com
山村塾 HP　https://sansonjuku.com

【現在のサポーター数】5 月 114 名→114 名/146.75 俵（個人：111、企業/団体：3）
【守られている棚田面積】24,458 ㎡（146.75 俵⇒244.58a 収量 6 俵/10 a として）

◆美しい棚田の風景と、それを守り引き継ぐ仕組みづくりを目指して、
お米を食べて応援してくださるサポーターを募集しています。
◆山村塾の活動は皆様からのご寄附で支えられています。

山村塾ホームページ
棚田米新聞も掲載しています